

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

香美市長 依光 晃一郎

市町村名 (市町村コード)	香美市 (392120)
地域名 (地域内農業集落名)	新改・天坪地域 (久次・上改田・須江・新改・入野・曾我部川・平山・向田・東川・河の川・繁藤・榎谷・上穴内・北滝本・西又)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年7月22日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

基盤整備を実施していない中山間地域では離農者の発生や不在地主が増えてきたことにより休耕地が多くなってきている。中山間活動組織や多面的機能支払交付金活動組織により遊休農地の発生は防げているが、高齢者が管理する小規模な農地は自己保全を続けるだけで精一杯である。また、鳥獣被害も多くなっている。基盤整備を実施した地域ではネギ、ニラ、生姜が主に栽培されており、後継者の居る農家や作業員を多く雇用する大規模農家が複数在り、農地の借り手希望も多いので今のところ農地利用に問題はない。地域全体で用排水路の老朽化による漏水の問題を抱えており改修が必要であるが、地元の努力だけでは限界になりつつある。

【地域の基礎的データ】
農業者:713人(うち50歳代以下78人)、団体経営体(法人・集落営農組織等)7経営体
主な作物:水稻・ニラ・やっこねぎ・WCS用稲・生姜

(2) 地域における農業の将来の在り方

農業者や土地所有者の意向を把握しながら、水路、農道等の農業用施設の長寿命化に向けて基盤整備の実施を地域内で調整していく。
休耕地や空きハウスが発生した場合にその情報を関係機関へ発信して借り手とマッチングまで行う体制を構築していく。
借り手希望の農家や新規就農者、就農希望者が相談できる体制を地域、関係機関で構築し、地域外から新たな担い手の確保を図っていく。
ニラ、ネギ等の高収益作物への転換を地域で促進し、新規就農者や若者の就農希望者が安定した収益を上げられるような体制を模索していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	208 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	208 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地区域内の農地及び農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律第7条第5項並びに同法第8条第4項の認定を受けた認定農用地並びに農振農用地区域外の農地で農地台帳で貸借権が設定されている農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構を活用して、人・農地プラン中心経営体など担い手や規模拡大意向の農業者の団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地の貸付希望者に対し、機構への貸付けを促進し、担い手の意向を踏まえながら集約化を図っていく。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業者や土地所有者の意向を把握しながら、水路、農道等の長寿命化のための基盤整備事業の活用を進めていく。 大型の農業用機械で作業できるように区画の拡大など、作業の効率化が図れる基盤整備事業の活用を検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
農業用機械の導入、拡充等により集落営農組織の強化を図り、作業受委託の拡大や遊休農地の再生、活用を推進していく。 青ネギ等高収益作物の栽培や比較的手間のかからない飼料用作物やWCS用稲を大規模に展開できる農業法人の設立も含めた体制づくりを模索していく。 ニラ、ネギ以外の作物で農福連携により人材確保が図れる仕組みを研究していく。 中山間活動組織や多面的機能支払交付金活動組織と連携しながら地域資源の保全管理に努めていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
中山間活動組織や多面的機能支払交付金活動組織で農作業が受託できるよう地域で育成し、遊休農地の発生防止を図る。 農業用機械の拡充等により集落営農組織の強化を図り、作業受委託の拡大を推進していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--